



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジ内政：臨時閣議で次年度予算を承認

(12月29日付現地各紙)

12月29日付現地各紙は、29日午後にあブドゥラー国王がリヤドで臨時閣議を主宰し、新年度予算（ヒジュラ暦1434-1435年（西暦2013年にあたる））を承認したと報じた。概要は以下のとおり。

なお次年度予算は、今年度予算（6900億リヤル）より1300億リヤル増となり、国家の歴史上最高額の予算となる。ただし、前年度の歳出が決算ベース（見込み）で8530億リヤルであったので、これとの比較での新年度予算はその規模面でむしろ現状維持と言える。

1. アル・サドハーン閣僚会議事務局長による予算に関する国王声明の代読

- (1) 次年度予算額は8200億リヤルであり、この予算は国家のサービス向上のため開発や発展に資するプロジェクト等の実施に費やされるほか、国民のためにより多くの就労の機会を与え、神が我々にお与えになった資源に投資するものである。
- (2) 同予算は新規プロジェクト実施のためであるほか、人材育成、インフラ、社会サービス分野における既存プロジェクト（総額2850億リヤル）の継続・完了のために費やされる。人材育成および人間への投資は全ての発展のための基礎であり、かつ必要不可欠である。2040億リヤルを超える額が公教育部門、高等教育、職業訓練、教育環境改善に当てられ、新たな学校や訓練所の設立、専門性のある新規の大学設置による既存大学都市の拡充が計画されている。
- (3) 保険・社会サービスに関しては、約1000億リヤルを投じて、プライマリー・ヘルス・センター整備、19の新たな病院建設のほか、国内の全地域に均等に5つの医療都市を建設していく。また、スポーツクラブやスポーツ都市、社会福祉やリハビリのための施設、社会の治安維持のための施設整備を行う予定である。
- (4) およそ360億リヤルが地方自治体サービスに振り分けられ、約650億リヤルが輸送部門およびインフラに当てられる。また、約570億リヤルが水、産業、貿易および経済資源のために使用される。
- (5) 予算は、科学技術のための国家計画および電気通信科学・通信科学のための国家計画にも充当される。

2. アッサーフ財務相の発言

- (1) ヒジュラ暦1433-1434（2012年）のGDPは2兆7274億リヤルとなる見込みで、昨年

度より 8.6%増となる。このうち、政府・民間両セクターを合わせた非石油部門では 11.2%増となる。

- (2) 非石油部門の国内経済活動は、いずれの業種においても順調な成長を遂げている。非石油変換産業 (non petroleum transformable industry) で 8.3%、交通・運輸・保管業で 10.7%、電気・ガス・水部門で 7.3%、建築業で 10.3%、卸売業・レストラン・ホテル業で 8.3%、金融・保険・不動産業で 4.4%の増加となった。
- (3) ヒジュラ暦 1433-1434 年における公的債務額は 988 億 4800 万リヤルになると予想され、前年度の 1355 億リヤルから減少する見込みである (注: 対 GDP 比でも 3.6%まで減少 (前年度は 6.3%))。なお、公的債務は国内債務のみで、海外債務は存在しない。
- (4) IMF は 2012 年報告において、サウジが高い原油収入のおかげで国内開発を進展させているとしたほか、国際石油市場の安定化に向けたサウジの努力を評価している。G20 も、サウジが構造改革や金融機関改革といった G20 提言を G20 内で最も良く実行しているとしている。また国の格付けにおいても、サウジは AA- という高評価を維持している。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799